

【羽村市】胃がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

| | |
|--------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（胃部X線検査） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|
| 該当年齢の人口 | 15,682 | 16,281 | 31,963 |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部): 57.8%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 619 | 629 | 1,248 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

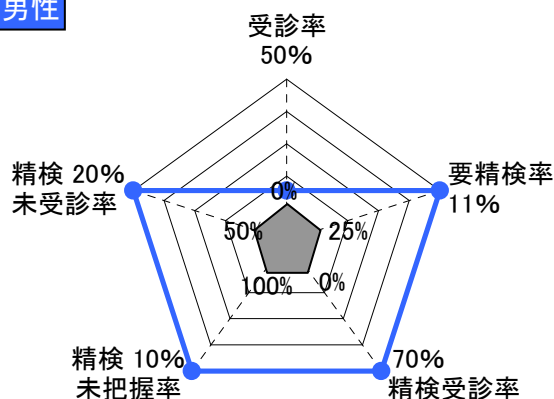
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | していない |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去3年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

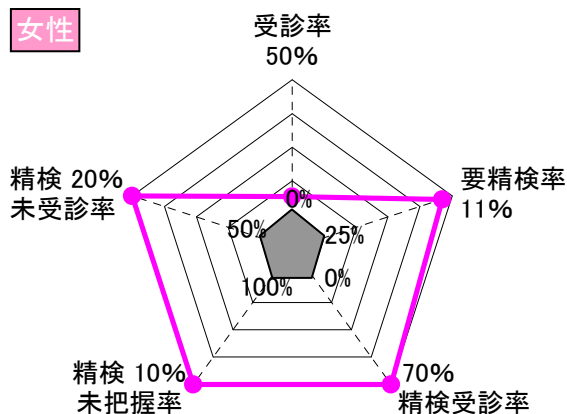
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 6.8% | 6.7% | 6.8% |
| 要精検率 | 11%以下 | 10.0% | 12.1% | 11.1% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 82.3% | 84.2% | 83.3% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 8.1% | 3.9% | 5.8% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 9.7% | 11.8% | 10.9% |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上 | 1.6% | 0.0% | 0.7% |
| がん発見率 | 0.11%以上 | 0.16% | 0.00% | 0.08% |

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

【羽村市】 肺がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

| | |
|---------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|
| 該当年齢の人口 | 15,682 | 16,281 | 31,963 |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部): 64.5%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 645 | 667 | 1,312 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

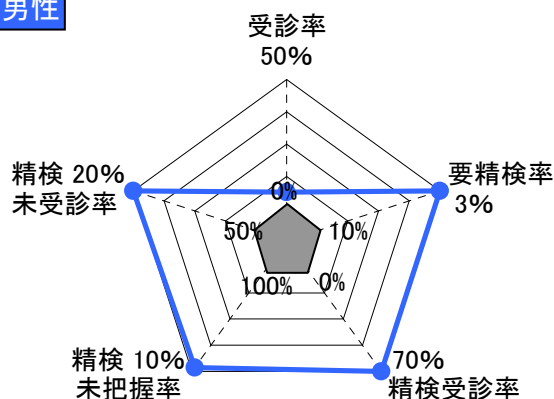
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | していない |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去3年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

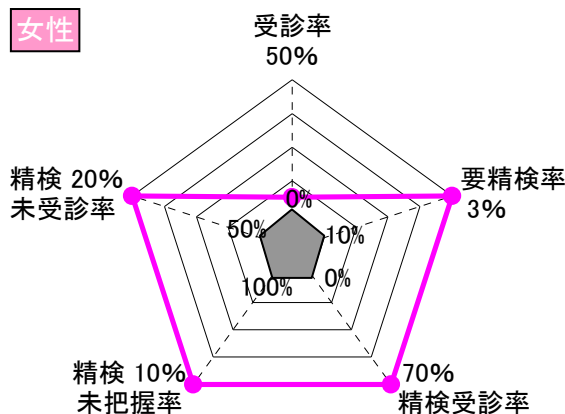
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 6.4% | 6.4% | 6.4% |
| 要精検率 | 3%以下 | 2.3% | 1.3% | 1.8% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 80.0% | 88.9% | 83.3% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 13.3% | 0.0% | 8.3% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 6.7% | 11.1% | 8.3% |
| 陽性反応適中度 | 1.3%以上 | 6.7% | 0.0% | 4.2% |
| がん発見率 | 0.03%以上 | 0.16% | 0.00% | 0.08% |

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【羽村市】大腸がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

| | |
|------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（便潜血検査（二日法）） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|--------|--------|--------|
| 該当年齢の人口 | 15,682 | 16,281 | 31,963 |
| 【東京都調査による対象者率（市町村部）：62.0%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 2,547 | 3,822 | 6,369 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

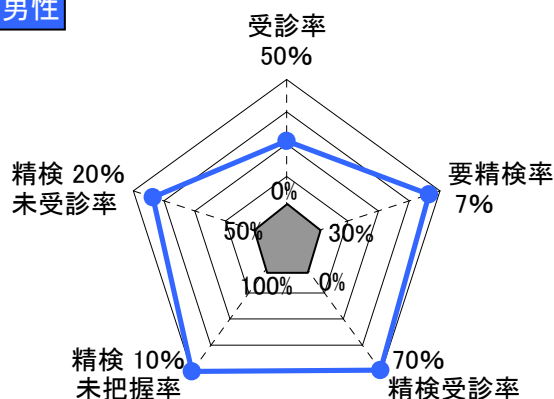
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | していない |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去3年間の受診歴を記録 | していない |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

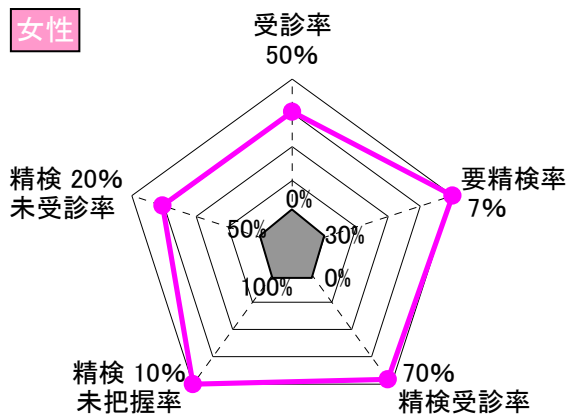
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 26.2% | 37.9% | 32.1% |
| 要精検率 | 7%以下 | 9.0% | 6.5% | 7.5% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 69.1% | 66.8% | 67.9% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 6.1% | 6.0% | 6.0% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 24.8% | 27.2% | 26.0% |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上 | 5.7% | 2.4% | 4.0% |
| がん発見率 | 0.13%以上 | 0.51% | 0.16% | 0.30% |

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未受診率>

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

【羽村市】子宮頸がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（20歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（細胞診） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 22,803 | |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部)：67.1%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 1,269 | |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | していない |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去3年間の受診歴を記録 | していない |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 16.8% | |
| 要精検率 | 1.4%以下 | | 1.6% | |
| 精検受診率 | 70%以上 | | 60.0% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 30.0% | |
| 精検未受診率 | 20%以下 | | 10.0% | |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上 | | 0.0% | |
| がん発見率 | 0.05%以上 | | 0.00% | |

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

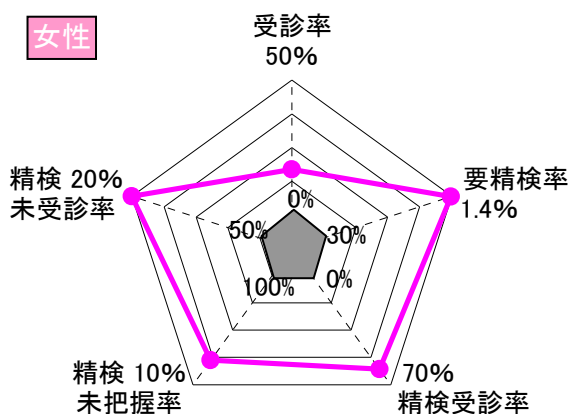
<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

女性



【羽村市】乳がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

| | |
|--------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（視触診及びマンモグラフィ） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 16,281 | |
| 【東京都調査による対象者率（市町村部）：73.1%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 1,031 | |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | していない |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去3年間の受診歴を記録 | していない |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 16.9% | |
| 要精検率 | 11%以下 | | 16.3% | |
| 精検受診率 | 80%以上 | | 72.0% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 26.2% | |
| 精検未受診率 | 10%以下 | | 1.8% | |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上 | | 1.8% | |
| がん発見率 | 0.23%以上 | | 0.29% | |

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

